

Honda

子どもアイディアコンテスト

誰でも取り組める

STEP①のための授業

ドキュメント

Honda

子どもアイディアコンテスト

子どもの

は、

夢をカタチにする

成長につながる

コンテストです！



例えば…気持ちを伝えられる「気持ちを伝えるんジャー」

1コマの授業で何ができるかな？

本授業のねらい

友達のアイディアを聞くことでその多様性を知り、児童一人一人が具体的なアイディアづくりの方向性をもつ

STEP①の
ための導入を

ここで方向性をもてたら、あとは、
夏休みの自由研究でも
引き続き教師の指導による実践でも
可能です！

改めて…STEP①とは

～9月上旬 STEP①

夢を絵や文でかく

「あったらいいなと
思うモノ」を応募用
紙か八つ切り画用紙
にかき、作品説明を
添えて、応募する。

裏

A white page with a red border, containing a form with multiple lines for text entry.A white page with a red border, containing the text "アイデア イメージ画を描く" and the large character "絵".

文

絵

応募部門・氏名・連絡先・作品タイトル
作品について・保護者・先生方へのアンケート

絵

学びの必殺技

走れこんど車2
(光合成エンジンつき)

カタチ



特徴

夢・用途例1 夢・用途例2 夢・用途例3

では、
ドキュメントで...

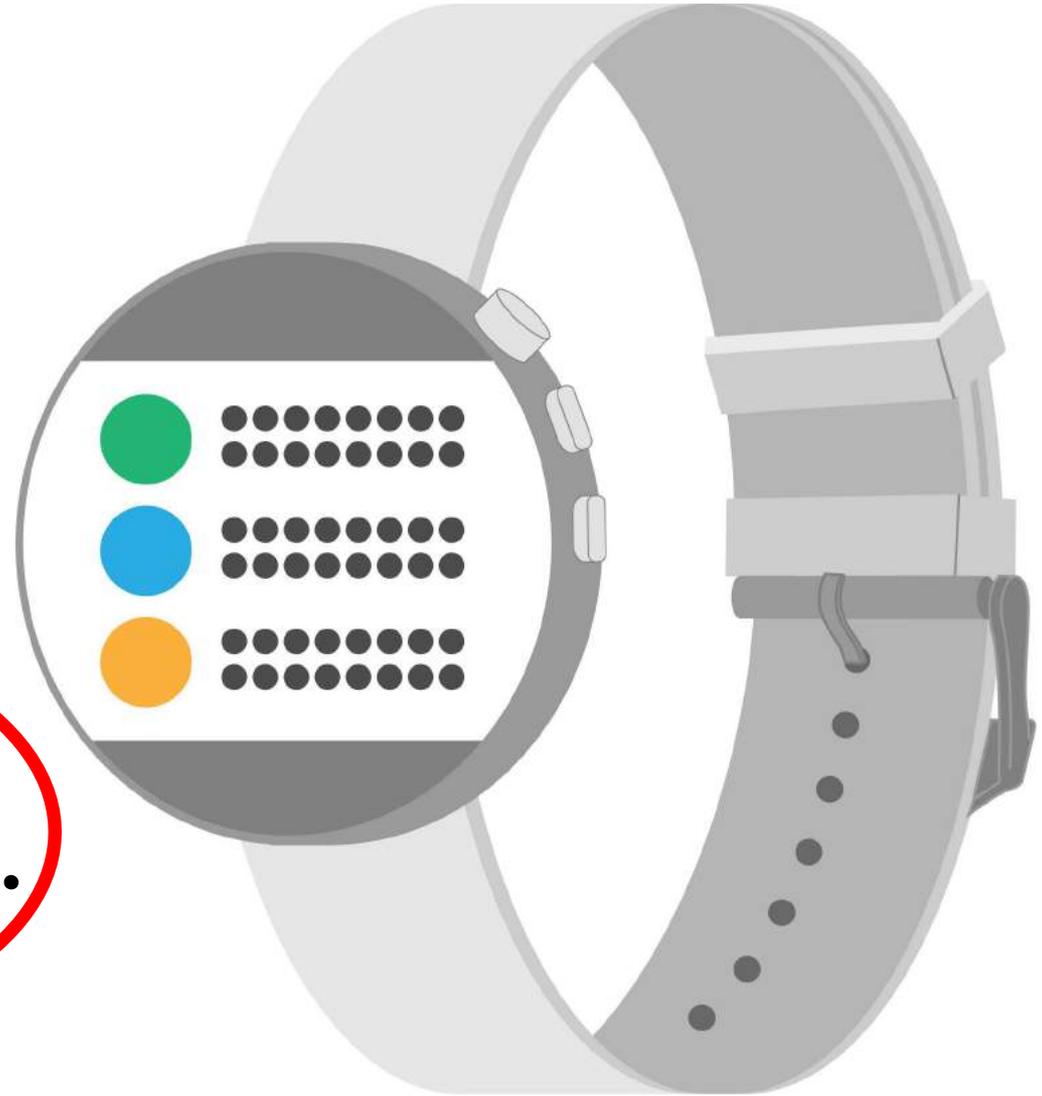


**パンフレットを配付し、画像を見せながら、
子どもアイディアコンテストの趣旨を簡単に説明する。**

腕時計型携帯電話として

ウルトラ警備隊の
時計が...

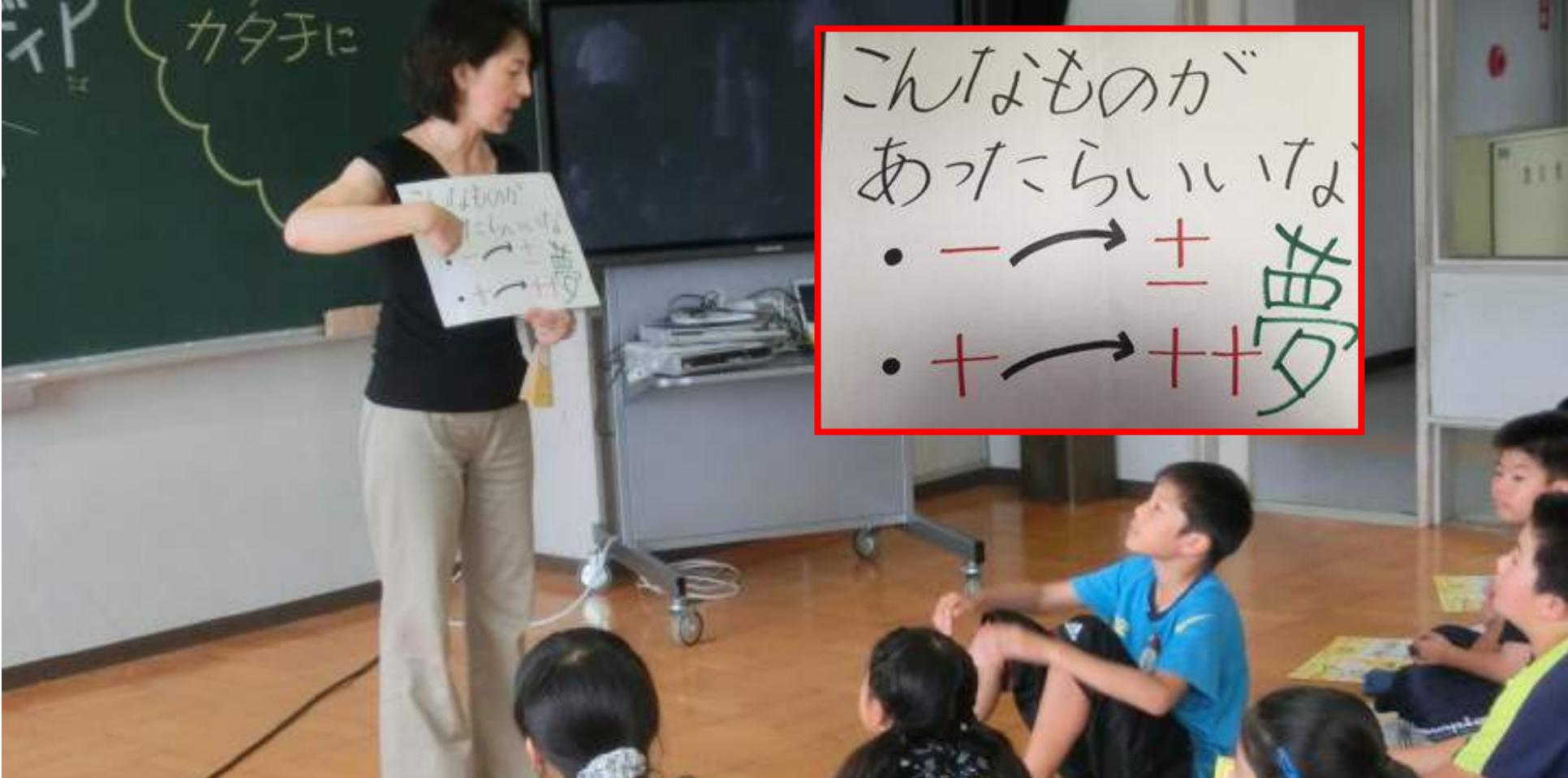
スーパージェッターの
腕時計型携帯電話が...



実現していることを例に



みんなの夢がカタ千となって将来実現するかもと語る。



皆の夢をカタ子にしようよ。叶ったら楽しいよね！！と
教師の子どものころの夢を話しながら、
わくわく感を演出する。
コンテストの趣旨を伝えるためにボードを示し、
活動の動機付けをし、見通しを持たせる。

改めて

こんな**夢**が実際に**カタ千**になっています
と、事例をいくつか挙げる。

夢

いつでもどこでも
通信したいな

カタ千

腕時計型携帯電話



腕時計型携帯電話

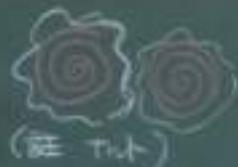


**1人1人が後でアイディアを出せるように、
まずは、思いついたアイディアを発表させる。(10人ほど)
全員の意見を認め、「何でもOKなんだ!!」と安心させる。**

徳門教育大学

HONDA

木川先生



第13回 子ども アイデア

君の夢を
カタチに

子どもたちから出てきたアイデアを板書する。
ただし、この時点では、まだ「うっすらとした夢」に留まり、
「カタチ」までは浮かんでいない。また「なにかでしかない」。
「今日は仲間と夢をカタチにしていこう」と投げかける。



子どもたちから出てきたアイデアを板書する。
ただし、この時点では、まだ「うっすらとした夢」に留まり、
「カタチ」までは浮かんでいない。また「なにかでしかない」。
「今日は仲間と夢をカタチにしていこう」と投げかける。



まずは1人でアイデアを考える。
「夢でもカタ千でも」「絵でも文章でも」「両方でも」と伝える。



**自主的にチームになり、
仲間と語り合うことでアイデアが広がり、より具体化する。**



**自主的にチームになり、
仲間と語り合うことでアイデアが広がり、より具体化する。**



教師が巡視し、子どものアイデアを確認。
「いいね！」と声かけをする、そして、**指名計画**も立てる。
子どもたちは「夢を語るのはとっても楽しいことなんだな～」
と実感していく。



指名計画を立てた3人の子どもにアイディアを披露させる。
考えたアイテムの用途や「なぜ、そんなことを思いついた
の？」と**アイディア**の元(種)を引き出す。

カタ子

靴にたこの吸盤をつけた
「**ぺたこ靴**」を考えました。
これを履くと
壁を歩くことができます。

夢

どうしてそんな
こと考えたの？

トカゲやヤモリが
壁を歩くとところを見て
うらやましくなったんです。
だって、いろんな見られない物が見えそうだから。



ぺたこ靴とセットで
軍手があっても
いいんじゃないですか。

お～
いいね。

「**ぺたこグローブ**」じゃん！



用紙にメモして
おいてね。

参考にします。

こうして、代表者のアイデアにアドバイスをさせ、
チームにおける伝え合いのモデルを示す。



発表者3人のモデルをもとにチームでアドバイスをし合う。
各自がアイデアを語り、仲間からアドバイスをもらう。
自分の夢はもっと広がり、カタチはより具体的に…。

友達と夢について話しました。
夢を**カタ千**にする今日みたいな授業は
とっても楽しいな！と思いました。



授業の感想を述べさせる。積極的に前に出てきて語る。
最後に、今後の「子どもアイディアコンテスト」の取り組み方を確認する。



最後は、笑顔で、拍手で、授業を終えた。
この学習で、みんなで夢を語り合ったことこそが、
夢を**カタチ**にする、
そして、1人1人の**成長**につながるプロセスだなと実感。

**この後は、
夏休みの自由研究としても
教師が引き続き指導しても**

**STEP①のための授業に
取り組んでみてください。**